



JUNO-106 PLUG-OUT Software Synthesizer

取扱説明書

初めてご使用になるときは、セッティング(P.9)の MIDI Input/Output を設定してください。

お使いの DAW の設定については、DAW のヘルプや取扱説明書をお読みください。

商標について

- ・VST は、Steinberg Media Technologies GmbHの商標およびソフトウェアです。
- Roland、PLUG-OUT、AIRA は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。





メイン・ウインドウ



TEMPO / KEY ASSIGN		ARPEGGIO	OTHER		EFFECT / DELAY / REVERB	
TEMPO SYNC MONO UNISON POLY-1 POLY-2	ステップ・シーケンサー/アルペジオのテンポを 設定します。設定したテンボのタイミングでイン ジケーターが点滅します。 LFO セクションのうねりの速さ (RATE) や EFFECTS セクションのディレイ・タイム (TIME) を、テンポに同期させます。 単音で発音します。 複数音重ねて単音として発音します (ユニゾン)。 ポリフォニックで演奏します (ポリ)。	ARPEGGIO アルペジオをオン/オフします。 ARP TYPE アルペジオのタイプを選びます。 ARP STEP アルペジオの1ステップあたりの音符の長さを 選びます。	KEY HOLD OCTAVE NAME DISPLAY DEC/INC	キー・ホールド機能のオン/オフを切り替えます。 鍵盤の音域を1オクターブ単位で動かすことが できます。 パッチの名前を設定します。 パッチ名を表示します。 前の(次の)パッチを選びます。	EFFECT TYPE TONE DEPTH DELAY TYPE TIME LEVEL REVERB TYPE TIME LEVEL	エフェクト・タイプを選びます。 エフェクトの音色を調節します。 エフェクトのかかり具合を調節します。 ディレイ・タイプを切り替えます。 音を遅らせる時間を調節します。 ディレイの音量を調節します。 リバーブ・タイプを切り替えます。 リバーブ・タイプを切り替えます。 リバーブ・タイプを切り替えます。 リバーブの音量を調節します。
	PORTAINERTO LEGATO RANGE BAIN OFF BEND SENS MOD SENS DEO VICF DEO VEF	KEY ASSIGN U-D DOWN DOWN 1/8 1/4T 10CT UP 1/4 1/18 10CT UP 1/4 1/18 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16 1/16		PATCH Anthrax DEC INC PATCH BEND GET OP	NOM SETTING HELP A	BOUT TYPE TYPE TYPE CH2 DLY CALL TONE TIME TIME CH2 DLY CALL TONE TIME TIME CH2 DLY CALL CH2 CH2 CALL CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2 CH2

PORTAMENTO / PITCH BEND / MODULATION

PORTA-	ポルタメントをかけるときのピッチ変化にかかる
MENTO	時間を調節します。
LEGATO	レガート奏法(あるキーを押しながら他のキーを 押す)のときにだけポルタメントがかかります。
BEND RANGE	ピッチ・ベンド・レンジを設定します。
BEND GAIN	BEND RANGE の倍率を設定し、変化幅を拡張 します。
BEND SENS	ピッチ・ベンド操作をしたときのピッチの変化す
DCO	る量を設定します。
BEND SENS	ピッチ・ベンド操作をしたときのフィルターの変
VCF	化する量を設定します。
MOD SENS	モジュレーション操作をしたときのピッチの変化
DCO	する量を設定します。
MOD SENS	モジュレーション操作をしたときのフィルターの
VCF	変化する量を設定します。

メモリーとバンク

1. [PATCH] ボタンをクリックします。

Patch Select 画面が表示されます。

Г	[NEW] ボタン 空の状態の新規バンクが	/	[DEL] 選択したパ	ETE] 7 ベンクを削除	ボタン _{糺します。}
H	【LOAD】 ボタ: バンクが読み込まれます	、	[SAV バンクをこ	'E] ボク ファイルに書	ヲン き出します。
в/ ік		P/	ATCHES		
▶ 1 Prese	A-1: SY Anthrax	C-1: SY Ice Keys	E-1: SY Floor	93	G-1: 1984 Clav
NEW	A-2: SQ CoralArpeggio	C-2: SQ Bass Delay	E-2: SQ Clim	bingSines	G-2: 1984 Celesta
	A-3: KY Poly Charus	C 2: DL Dlyck Dises	E-3: PL Gentl	e Pluck	G-3: 1984 Dark Pluck
	A-4: BR Juno P-Saks 道	訳したメモリーは、オレ	E-4: SY Juno	Stab Dly	G-4: 1984 Pluck Sweep
DELETE	A-5: PD Juno Warm Pa	シ色で表示されます。	E-5: PD Nz S	weep Pad	G-5: 1984 Synth Pad
	A-6: LD 80s Lead		E-6: LD Sine	Lead	G-6: 1984 Sweep
LOAD	A-7: BS Juno Basic Bs	C-7: BS BioDserver	E-7: BS Rubb	Tubo	G-7: 1984 Reso Rise
	R-1: SY LR Hoover	D-1: SX Synth Dude	E-0. FX Velo		H-1: 1984 Chorus Vibes
	B-2: SO Orion's Belt	D-2: SQ Pure Sine	F-2: 1984 Bra	iss iss & Str	H-2: 1984 Lead L
SAVE	B-3: KY Piano Caper	D-3: KY Mumble Clay	F-3: 1984 Stri	ings I	H-3: 1984 Lead II
	B-4: BR PWM VeloBrass	D-4: SY Robo Power	F-4: 1984 Stri	inas II	H-4: 1984 Funky
	B-5: PD Warmer Pad	D-5: PD PWM Stringer	F-5: 1984 Cho	oir	H-5: 1984 Synth Bass
	B-6: LD J-Oboe Solo	D-6: LD Bright Unison	F-6: 1984 Ord	an	H-6: 1984 Trumpet
	B-7: BS Juno MegaBass	D-7: BS Juno Solid Bs	F-7: 1984 Pia	no	H-7: 1984 Drum Boon
	B-8: FX Zipped	D-8: PD Juno Soft Pad	F-8: 1984 E P	viano	H-8: 1984 Caverns
				SEND ALL GE	TALL WRITE RENAME READ
 マウス・カーソル(をこの上に重ねると 一覧が表示されま) 	/ マウス・ポインタ) ニ、ショートカット す。	ご注意 64個のメモリ- して、上書きし したい場合は、 したバンクで受	ーを選択中の/ ます。, バンクの 新規バンクを作 信してください	ベンクで受信 ○状態を保持 乍成し、作成 ↓ (P.7)。	
		[SEND ALL] 7 バンクに登録されている すべて (64 個) SYSTEM- ます。	ドタン ペモリーを -8 に送信し	【GET SYSTEM リーをす	「ALL】ボタン -8 に登録されているメモ べて(64 個)受信します。
[WRITE] エディットしたき てパンクに保存	】 ボタン 音色を、メモリーとし にします。	【RENAME】 ボ 選択したメモリーの名前な ます。	タン E変更し	[REA バンクにき み込みま	】D] ボタン 登録してあるメモリーを読 す。

バンク

64 個のメモリーをまとめたものを「バンク」と呼び、バンクを 切り替えることで、数多くのメモリーを呼び出すことができます。 バンクはファイルとして保存することができます。



バンクを切り替える

1. バンク欄をクリックします。 バンク・リストが表示されます。

2. 呼び出したいバンクをクリックします。

バンク欄右側にある [▲] [▼] ボタンを押すと、1 つ前、1 つ後ろのバンクに切り替えるこ とができます。

バンクを書き出す

バンクをファイルに書き出します。

- **1. [SAVE] ボタンをクリックします**。 ファイル名入力画面が表示されます。
- **2. ファイル名を入力し、保存します**。 ファイルが書き出されます。

バンクを読み込む

- **1. [LOAD] ボタンをクリックします**。 ファイル選択画面が表示されます。
- **2. ファイルを選択し、読み込みます**。 バンクが読み込まれます。

バンクを作成/削除する

バンクの作成

[NEW] ボタンをクリックすると、空の状態の新規バンクが作成されます。

バンクの削除

選択したバンクを削除します。

- 1.「バンクを切り替える」(P.6)の手順で、バンクを選択します。
- 2. [DELETE] ボタンをクリックします。 確認画面が表示されます。
- 3. [OK] をクリックして、削除します。

バンク名を変更する

- 1.「バンクを切り替える」(P.6)の手順で、バンクを選択します。
- 2. バンク欄左側にある ▶ をクリックします。
- 3. 名前を変更し、[Return (Enter)] キーを押します。

メモリー

JUNO-106 では、64 個のメモリーを1 バンクとして管理します。

メモリーを読み込む

バンクに登録してあるメモリーを読み込みます。メモリーを読み込むと、エディット・エリア に設定が表示され、エディットできるようになります。

- 1. 読み込むメモリーの番号をクリックします。
- **2.** [READ] ボタンをクリックします。または [Return (Enter)] キーを押します。 メモリーが読み込まれます。 ※メモリー番号をダブルクリックして、メモリーを読み込むこともできます。

メモリーを保存する

エディットした音色を、メモリーとしてバンクに保存します。

- 1.保存するメモリーの番号をクリックします。
- **2. [WRITE] ボタンをクリックします**。 メモリーがバンクに保存されます。

メモリー名を変更する

- 1.名前を変更するメモリーの番号をクリックします。
- **2.** [RENAME] ボタンをクリックします。
- 3. 名前を変更します。(最大 16 文字)

メモリーの順番を変更する

メモリー番号をドラッグして、メモリーの順番を変更します。

SYSTEM-8 で演奏する

SYSTEM-8 をパソコン (Mac / Windows) に接続すると、JUNO-106 と SYSTEM-8 を組み合わせて使うことができます。

MIDI ポートとして表示される [SYSTEM-8 CTRL] は、JUNO-106 が使用するポートです。 DAW からは使用しないでください。

プラグアウト

プラグアウトとは?

JUNO-106 をはじめとするソフトウェア・シンセサイザーを、 SYSTEM-8 に組み込んで使用することができる技術です。



- ・パソコンを使わずにSYSTEM-8単体で、JUNO-106を演奏 することができます。
- ・選択中のバンクの情報をSYSTEM-8に転送することができます。
- ・SYSTEM-8のつまみやスライダーを使って、音色をエディットすることができます。

プラグアウトの手順

- 1. [PLUG-OUT] ボタンをクリックします。
- SYSTEM-8の MODEL ボタンに対応する、PLUGOUT 先(PLUG-OUT1 ~ PLUG-OUT3)を選択します。

確認メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

プログレス・バーが表示され、プラグアウト処理が始まります。およそ1分かかります。 ※すでにJUNO-106をいずれかのPLUG-OUT 先(PLUG-OUT1~PLUG-OUT3)に プラグアウトしてる場合は、新たにプラグアウトすることはできません。

※すでにほかのソフトウェア・シンセサイザーが SYSTEM-8 にプラグアウトされている場合 は、確認メッセージが表示されます。続けるには、[OK] をクリックします。

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

- ・ MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.9)
- ・SYSTEM-8 とパソコンが接続されていますか?

メモリーのセンド/ゲット



- 1. SYSTEM-8 をパソコンと接続します。
- プラグアウト先の SYSTEM-8 の MODEL [PLUGOUT1 ~ 3] ボタンをオンにします。

※メモリーをセンド/ゲットするには、あらかじめプラグアウト(P.8)しておく必要があります。

メモリー・センド

JUNO-106の現在のメモリーを、SYSTEM-8に送信して、SYSTEM-8で鳴らすことができます。 音は SYSTEM-8の OUTPUT 端子から出力されます。

3. JUNO-106 の [SEND] ボタンをクリックします。

メモリーが送信されます。

メモリー・ゲット

プラグアウトした JUNO-106 のメモリーを SYSTEM-8 でエディットしたとき、そのメモリーを JUNO-106 に取り込むことができます。

3. JUNO-106 の [GET] ボタンをクリックします。

メモリーが取り込まれます。

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

- ・ MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.9)
- ・SYSTEM-8 とパソコンが接続されていますか?
- ・SYSTEM-8のMODEL [PLUG-OUT 1~3] ボタンはオンになっていますか?
- ・JUNO-106 が SYSTEM-8 にプラグアウトされていますか? (P.8)



オプション

1. [OPTION] ボタンをクリックします。

JUNO-106 Layout
SYSTEM-8 Layout
Zoom 100%
Zoom 125%
Zoom 150%
Zoom 175%
Zoom 200%
Set MIDI Control Mapping for SYSTEM-8
Clear MIDI Control Mapping
2 Voices
4 Voices
6 Voices
8 Voices
Optimize for Lower CPU Usage
Roland Cloud
Authentication

2.項目を選択します。

選択されている項目には、✓が表示されます。

項目	説明
JUNO-106 Layout SYSTEM-8 Layout	メイン・ウインドウの操作子の配置を変更します。 JUNO-106 Layout:JUNO-106 (オリジナル)相当の配置にします。 SYSTEM-8 Layout:SYSTEM-8 と同じ配置にします。
Zoom	メイン・ウィンドウのサイズを変更します。
Set MIDI Control Mapping for SYSTEM-8	MIDI コントロール・チェンジの対応を、SYSTEM-8 をコントロール・サーフェスとして 使用する設定にします。
Clear MIDI Control Mapping	MIDI コントロール・チェンジの対応をすべてクリアします。
2 ~ 8Voices	最大同時発音数を設定します。 発音数を減らすと、CPU への負荷を下げことができます。
Optimize for Lower CPU Usage	CPU 使用率が高くなり音切れが発生するときは、 ON にしてください。
Roland Cloud	Roland Cloud サイトを表示します。
Authentication	JUNO-106 のユーザ認証を行います。

セッティング

1. [SETTING] ボタンをクリックします。 Setting 画面が開きます。

※Flip Scroll Direction は Mac のみ。



2. パラメーターを変更します。

パラメーター	説明		
MIDI CTRL Input	- 「SYSTEM-8 CTRL」を選びます。		
MIDI CTRL Output			
Flip Scroll Direction (Mac のみ)	マウスのスクロール・ホイールで値を変更するときの、回転方向を反転します。		

※複数の JUNO-106 を起動したとき、すべてに適用されます。

その他

DAW 上の JUNO-106 (プラグイン)を SYSTEM-8 で鳴らす場合は、SYSTEM-8 のメニュー から [SYSTEM] → [SOUND] → [Local Sw] の設定を [SURFACE] にしてください。

SYSTEM-8 内蔵の音源は鳴らなくなり、JUNO-106 だけが鳴らせるようになります。 詳しくは、SYSTEM-8 リファレンス・マニュアルをご覧ください。